

キッパリといわれた認知症

認知症の症状が出てきて、「思いやりのなさが顕著になってきました」といいます。

例えば、相談者の料理は、文句をつけて食べない。そのくせ、同居している息子さんのパートナーの料理は、食べるのだとか。

「私が出かけるというと、チラッと時計を見て、帰ってきたときも、チラッと時計を見てから、文句をいい始めるのです」

最近では、妄想が出てきて、その内容を話してくるのだとか。

「まったくあり得ない話を、まるで今、体験してきたかのように話すのですね。嘘ばかりをいってと返せば、怒り出す…」

困り果てている様子です。そこで、私は次のように、お伝えしました。

「本人は、嘘をいっているわけではなく、妄想の内容を話しているだけなのですから、怒られた、うるさくいわれてしまうという印象しか頭には刻まれませんよ」

実は先日、脳外科でMRIを撮ってもらうと、「認知症です」とキッパリ、いわれたそうです。

1人で悩まない

最近では、散歩に出かけて、1時間も2時間も帰って来ないようです。

「自宅へ帰る道が分からなくなることがあるので、犬を連れて行くといいですよ。犬が自宅まで連れて帰ってくれますから」といったアドバイスも。

ただ、散歩から帰ってきて、少し休む

店頭から「こんにちは」

第128回

73歳男性。社長の席を息子に譲って、間もなくのことです。配偶者が、「認知症の症状が出てきた」と来店されました。

思いやりのなさがあらわになった悩み多き日々
認知症の夫との確執にはまず相談を



と、また、「散歩に行く」と出かけるそうです。犬も疲れて散歩を拒否、動かないので、1人で出かけるようです。

散歩のコースを聞くと、最近、熊が出たという川べりをとおり、5～6kmとのこと。スマートフォンは持たない主義なので、持ちものの見えないところに名前と住所を書いているといいます。

介護認定の役所からの調査の際には、「何日の何時にはウチにいてね」とお願いして、ようやく介護認定がとれたともいいます。

人にいろいろと聞かれたり、会ってお話ししたりするのを拒む方とのこと。「今後のケアマネジャーとの面談のときには、どうしようかと悩みが絶えません」

そこで、こうも、お伝えをしました。「ケアマネジャーさんは、そうした人の対処には慣れています。GPS発信器を靴につけるという方法も。認知症の人の見守りネットワーク事業に登録するのもいいでしょう。1人で悩まずに、専門家にまずは相談してください」

少し表情が明るくなって帰られました。超高齢社会となった今、みなさん、共通の悩みなのです。

宮川薬局(宮城県仙台市)代表
薬学博士・薬剤師

みやがわとしじ
宮川季士先生

プロフィール

1976(昭和51)年、東北薬科大学(現・東北医科薬科大学)卒業。'78(同53)年、同大学大学院修士課程修了。'87(同62)年、薬学博士学位。地域に根ざしたおクスリ屋さんとして、多くのファンが。「脱水症状にはくれぐれもご注意を」

